

平成 27 年度
報 告 書

当懇話会は下記のことについて審議致しました。その結果をご報告申し上げます。

【審議事項】

- 1 次期行政改革大綱にかかる委員提案について
- 2 石狩市行政改革 2016「第 4 次実施計画（平成 27 年度）」の推進状況について
- 3 石狩市行政改革 2016「第 5 次実施計画（平成 28 年度）」（案）の内容について

平成 28 年 3 月 14 日

石狩市長 田岡 克介 様

石狩市行政改革懇話会
会 長 角川 幸治
副会長 永山 隆繁
委 員 能村 久美子
委 員 藤沢 和恵
委 員 向井 邦弘
委 員 松谷 初代
委 員 柴田 由美子

I 次期行政改革大綱にかかる委員提案について

1 総括評価

懇話会およびそれぞれの班において検討を重ねた結果、委員より出された意見を総括すると以下のとおりである。

- ・取り組むべき課題はこれまでの懇話会における議論において概ね列挙されており、次期大綱についてはこれらを踏まえ、策定にあたられたい。
- ・個々の実施項目について掲げられている目標を達成するよう、さらに取り組みを深めること。

II 石狩市行政改革 2016「第4次実施計画（平成27年度）」の推進状況について

1 総括評価

「第4次実施計画」の総体的推進状況は概ね順当と認められる。

2 個別意見

事務局の説明に対して行政改革懇話会において開陳された具体的事項に係る意見は次のとおりである。

- ・「多様な勤務時間の導入」については、住民サービスに繋がる取り組みであるため、今後も引き続き検討願いたい。
- ・「審議会への女性の登用」については、女性に限らず、さまざまな市民に届くように周知し、審議会を活発に運営すべきである。
- ・協働は総合計画でも重要な位置づけがなされているとおり、更なる進展を望む。

III 石狩市行政改革 2016「第5次実施計画（平成28年度）」（案）の内容について

1 総括評価

今大綱の最終年度である「第5次実施計画」については、新たな実施項目が少数とは言え、これまでの改革の方向性に沿った検討がなされたと言える。行政改革に関する懇話会意見についても概ね反映された内容となっており、妥当なものとする。

2 個別意見

行政改革懇話会において開陳された、具体的事項に係る意見は次の通りである。なお、今年度は総合計画に関わる意見も多かったため、今後の参考にあえて含める。

- ・職員ひとり一人のセキュリティ意識の底上げは重要である。
- ・人口増加のために魅力ある石狩づくりは重要である。そのためにはアンケートにより状況把握が必要である。
- ・中古物件の利活用（リフォームなど）、空き家対策に取り組むのが重要である。

以 上